

令和3年決算特別委員会（総括質疑）開催状況

開催年月日 令和3年11月12日（金）
 質問者 日本共産党 宮川 潤 委員
 答弁者 知事

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>三 泊原発の安全対策等について （一）泊原発の維持管理コストについて 各部審査で、泊原発停止以降の泊原発安全対策費が2,030億円、原子力発電費が6,170億円、道の原子力安全対策費も福島原発事故以降で163億円ということを指摘しました。 原発停止中でもこれだけのコストがかかることが、道民理解を得られると知事は認識しているか何うとともに、原発維持のために莫大なコストについての知事の認識を伺います。</p>	<p>（知事） 泊発電所についてであります。原発は、国の規制責任と事業者の保安責任という基本的枠組みの中で安全性が確保されることが大前提であり、北電において、常に規制基準以上の安全レベルの達成を目指し、不断に取り組むことが重要であります。 現在、泊発電所は稼働しておりませんが、使用済み核燃料が現に貯蔵されていることなども踏まえ、道としては、今後とも、北電に対し、泊発電所の安全確保について万全を期すことはもとより、道民の皆様にご理解をいただけるよう丁寧な説明を行うよう強く求めていくとともに、道自らも、従来から住民の皆様の安全確保に必要な予算を確保しており、引き続き、原子力防災訓練を重ねるなどして、防災対策の充実や強化に不断に取り組んでまいります。</p>